

---

# アトツキさん

千田基生

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アトッキさん

### 【著者名】

千田基生

N1444N

### 【あらすじ】

ついてくるホラーですよ。

『エリート』でもある、ある町の事故多発区域。見通し悪いとか、車が多いとかあるよね。

地元の小学校、通学路となつてゐるのもわりと事故が頻繁に起きてて、親が言うには違う道が通学路に代わるとか。

その小学校に通う妹曰く、『アトシキさん』が通学路にいてついてくる。

アトシキさんは子供で、たぶん女の子。でも男の子の時もあるらしい。

何するかっていうと、つこしてくるだけ。

アトシキさんが現れるのは、そこで事故が起きる前日。例え死亡事故じゃなくても、行き帰り問わず来るとか。家までついてきたって言うのは聞かない。

いつの間にか居なくなつたところで事故が発生する。

これを聞いた私は作り話だな、と直ぐに解つた。子供もはよく怖い話にくつつけたがるから。噂として、一時的に盛り上がりしているだけだらう。

「あのせあ、同じクラスの○○ちゃんが今朝アトシキさんにあつて話しかけたんだって。」『どうしてついてくるの?』って。そしたらアトシキさん、何で言つたと思つ?」

『ハハハ笑顔で帰ってきた妹が訊いてきた。まだ流行つてんのか、

と正直呆れ気味に何て?つて聞き返した。  
妹は満足そうにこう言った。

「おしえてあげる…」つて言ひて消えたの!」

翌日、その〇〇ちゃんは登校してこなかつた。軽い事故に遭つて、左足を骨折したやうだ。  
〇〇ちゃんは車が迫つてくる瞬間にたくさんの子ども達の泣き声を聞いたらしい。

## かえして

と叫ぶ、泣き声を。

死亡事故を起こした運転手は皆原因を、子どもたち絡みの供述をし  
たらしい。

『沢山の子どもがフロントガラスに張り付いてた。』

私の解釈では多分、アトツキさんは事故でなくなつた子どもたちで、自動車を恨んで事故を起こしているのではないかと思つ。  
そんな真偽のわからない話に考察を入れるのもどうかと思うが、二コースによると初めより事故の場所が学校の近くになつているやうだ。

私は別に信じてないけど、似たような事故の多発区域が移動するのも変な話だよね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1444n/>

---

アトツキさん

2010年10月10日22時09分発行